

令和8年5月1日

立教189年

5月号
第644号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

5月9日(土)～10日(日)

少年会宇仁団&学生会 第4回 合同おとまり会

5月24日(日) 縦の伝道講習会



天理教婦人会第108回総会

散歩道

「芽を吹く」という言葉には、静かに内に蓄えられてきた力が、いよいよ外に現れてくる感じが感じられます。長い冬の間、土の中でじっと耐えていた種が、やがてやわらかな日差しとともに芽を出す。その姿は、私たち人間の歩みにも重なります▼日々の生活の中で、すぐに結果が見えないことに焦りや不安を感じることがあります。しかし、見えないところで育まれているものは、決して無駄にはなりません。努力や祈り、周囲への思いやりといった一つひとつの積み重ねが、やがて時を得て芽を吹き、形となって現れてくるのです▼また、芽を吹くためには、火、水の御守護や恵み(肥)が必要です。人も同じように、互いに支え合い、温かい言葉(声)をかけ合うことで、心の芽はより健やかに育っていきます。お道の勉強をしたわれわれは、教祖のお言葉を声・肥として取り次ぐことを、常に忘れないようにしたいものです。

一 理 塚

コンスタンティヌス大帝の寄進状、をご存じでしょうか。

コンスタンティヌスは四世紀のローマ皇帝で、分割統治の状態であった帝国を再統合したローマ帝国後期の名君です。しかし時代の流れには逆らえず、彼の没後しばらくして、帝国は東西に分裂し、五世紀後半には西ローマ帝国が滅亡してしまいます。コンスタンティヌスは初めてキリスト教に改宗した皇帝としても知られています。そしてローマ教会に多くの領地と帝国西側領内での政治的優位性を与えたとされるのが「コンスタンティヌスの寄進状」です。

数百年の時が流れて八世紀末、フランク王国が西欧の大半を支配し、ローマ教皇はフランク王カールに皇帝の称号を授けます。ローマ教会の長が皇帝を任命するという先例はありませんでしたが、その根拠になったのが

「コンスタンティヌスの寄進状」の存在なのです。

カール大帝の戴冠はローマ帝国の復活と受け止められ、後のヨーロッパに大きな影響を与えます。カール大帝没後、フランク王国も分裂しますが、後継王国の一つ、東フランク王国（現在のドイツ地域）の王が教皇から皇帝位を受け、代々ドイツ王が皇帝となり、ローマ教会から帝位を受けるがゆえにキリスト教の普及にも努め、神聖ローマ帝国として周辺諸国とも大きく関わりながら、今日のヨーロッパ・キリスト教社会へとつながっていくことになります。

ところがルネサンス期の十五世紀になって「コンスタンティヌスの寄進状」は四世紀の文書にしては表現が不自然だ、との指摘がなされ、長年にわたる議論と検証の末、八世紀中ごろに作られた偽書だということが確認されました。

中世ヨーロッパ史に燦然と輝くカール大帝の戴冠は、皮肉な

ことに、偽りの物語を拠り所として実現し、その上に西欧の新たな物語が紡がれてきたのです。

とは言え、カール大帝は西欧の大半を支配しローマ教会の保護にも努めました。皇帝たるにふさわしい実力を兼ね備えていたことも事実でしょう。その事実、その背景にふさわしい物語、コンスタンティヌスが託したとされる帝国の理念が加わり、その理念を実現しようとする強い信念によって、歴史は大きく動いたのです。元来は偽りであった教皇の皇帝任命権も既成事実として世界に定着していきました。物語を持つ強い信念は世界の歴史を動かす原動力になるのです。

しかしながら、コンスタンティヌス大帝とカール大帝の後継を自認し、数世紀にわたってヨーロッパの中心で存在感を示した神聖ローマ帝国は、実際にはドイツ諸侯の連合体で、理念先行の実にあやふやな政体でした。しかもローマ帝国を称するが故

に域内外の様々な紛争に関わり、地域に混乱をもたらしつつ衰退していきます。終末期には思想家ヴォルテールに「神聖ではなく、ローマ的でもなく、帝国でさえない」とまで評されました。

理念、信念は重要なものです。人が真実ではないものを拠り所とするならば、その歩みは知らず知らずのうちに歪められてしまう。たとえそれが一時的に大きな力を持ったとしても、その基盤が揺らぐとき、混乱は避けられないのです。

本当に信じるべき真実は何かを見極めることこそ、信仰の歩みの第一歩だと思います。

歴史の中で生まれた一つの偽りが大きな影響を及ぼしたという事実は、単なる皮肉では終わりません。それは、人を動かす心の元となるものと、心が向かう先がいかに重要であるかを教えてくれます。だからこそ私たちは、より確かなもの、より真実に近いものへと心を向け続ける努力が必要だと思うのです。

宇仁大教会 活動方針

「たすけ一条」「つとめ一条」の実践

実践項目

『たすけ一条』

○にをいがけの実動

親神様の教えと教祖の親心を伝え、

教会、おぢばへ導こう

○おたすけの実動

一人ひとりに寄り添い、

おつとめとおさづけでたすかりを願おう

『つとめ一条』

○おつとめの大切さを原典に学ぼう

○日々のおつとめを真剣に勤めよう

○おつとめ奉仕者の増加と丹精に励もう

天理教少年会

宇仁団総会開催

三月二十九日(日)宇仁大教会で、天理教少年会宇仁団総会が開催されました。

当日は暖かな天候に恵まれ、少年会員六十二名、育成会員百十二名、計百七十四名の方がご参加下さいました。

午前九時。受付が始まると、この日のために練習を重ねてきた少年会員が続々と集まり、おつとめ着に着替えていきます。

十時開式。少年会員による雅楽の演奏が流れる中、祭主畑中悠希さんを芯に祭儀式が執り行われました。

おつとめでは可愛いちびっ子から中学生までの少年会員と助っ人の育成会員が座りづとめから六下り目までを緊張しながらも陽気につとめきました。

続いて総会式では少年会長様のご告辞を大教会長様に代読して頂き少年会員へのメッセージと今年六十周年を迎える少年会創立の思いをお伝え頂きました。その後団長挨拶、昨年度の

活動報告、中学卒業生への記念品贈呈、記念撮影と続きました。

午後からのお楽しみ行事では各教会心づくしの模擬店の楽しい気な雰囲気誘われて、ご近所の親子連れも見にいられたそうです。

お腹も一杯になったところで再び参拝場で腹ごなしを。ウーニーバンドの演奏に合わせてマツケンサンバⅡを踊ります。この日のために手作りされたキラキラヒラヒラの棒(マツケン棒)を振り回しては、「オレッ！」のタイミングでポーズを決めていました(笑)

ラストの抽選会では番号を呼ばれた子から順番に真剣に景品を選んでいきます。一喜一憂しながらも最後は全員に参加賞が配られ、バナナとお菓子のお下がりを頂いてお開きとなりました。

おつとめ総会は、緊張と緩和の両方を味わえる年に一度の貴重な機会だと思っています。

ご参加ご協力下さいました皆様ありがとうございました。

宇仁団団長 原田信一

少年会員による祭儀式



座りづとめ、よろづよ八首



一～六下り目



御告辞・団長挨拶・卒業生記念品贈呈



お楽しみ行事（模擬店、鼓笛演奏：マツケンサンバⅡ、抽選会）



模擬店の出店ありがとうございました

豊原分教会 (ハッシュドポテト)	杉原谷分教会 (からあげ)	水嶋分教会 (ジュース)	鍛冶屋分教会 (お菓子つかみ取り)
道延分教会 (フルーツゼリー)	和道分教会 (フランクフルト)	兵庫中央分教会 (焼きあんこ餅)	大西脇分教会 (千本引駄菓子屋)
西津萬分教会 (コロッケ)	日下分教会 (牛丼)	西脇分教会 (ホイップクリーム ロールパン)	國延分教会 (ピラフ)
曾我井分教会 (ホームランバー)	大物部分教会 (バターゴルフ & 駄菓子屋)	中河合分教会 (わなげ)	高鹿喜分教会 (わた菓子)

教祖140年祭
学生おぢばがえり大会
直属アワー

三月二十八日、素晴らしい晴天の御守護をいただき、大教会より学生二名を乗せておぢばへ出発しました。道中も順調で、無事に式典にも間に合いました。会場では多くの学生たちの無邪気な笑顔に触れ、また式典でのスピーチを通して、彼らの純粋に道を求める姿勢に胸が熱くなりました。

式典後は、おぢばから詰所まで神名流しをしながら歩かせていただきました。詰所に到着後は、昨年約束していたBBQを学生たちと一緒に準備し、楽しいひとときを過ごしました。

宇仁につながる学生たちは、顔は知っていても、これまであまり話す機会がなかったため、タイプ別の心理テストを取り入れ、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

最後の振り返りでは「今、自分がここにいるのは、多くの人の支えがあってこそだと知りま

した」という感想がありました。おぢばとは、なんと素晴らしいところなのだろうと、改めて感じさせていただきました。学生たちは互いの話に耳を傾け、共感し合いながら、不思議と神様を感じ、道を求めている姿が印象的でした。そこから、信仰に年齢は関係ないということを実感しました。

私たちも決して気を緩めてはいられません。学生たちの背中を追いかけるような形にはなりますが、学生担当として、これからも精一杯努めてまいります。

学生会担当 田尻壮祐



大教会布教実動日(五月)

○第一回実動日

日時：五月十五日(金)

午後一時半～三時

場所：大教会集合

内容：戸別訪問

持ち物：リーフレット

担当：布教部

○第二回実動日

日時：五月十六日(土)

午前十時～十一時半

場所：豊原分教会

内容：戸別訪問

持ち物：リーフレット

担当：豊原分教会

○第三回実動日

日時：五月二十四日(日)

大教会月次祭連絡会終了から

場所：大教会

内容：神名流し

持ち物：はっぴ

担当：布教部

婦人会より

◇大教会炊事当番

5月 直属

6月 神福B

7月 中河合

よろしく

お願いします

おぢば通信

三月のうごき

◎初席者

日 下

藤原 佐知子
藤原 涼帆
藤原 季也

◎三月帰参者

一四五名

(詰所調べ)

※先月号の「二月のうごき 修養科修了」の所で名前に誤りがありました。お詫び申し上げます。

【誤】國延 笹倉百恵

【正】國延 笹倉早恵

五月行事予定表

9日 婦人会例会

9～10日 少年会宇仁団&学生会

第四回 合同おとまり会

13日 青年会例会

15日 大教会第一回布教実動日

16日 大教会第二回布教実動日

22日 少年会例会

24日 大教会月次祭

午前十時三十分執行

縦の伝道講習会

大教会第三回布教実動日

26日 本部月次祭

午前九時執行